

A 4.0-3.0
 B 2.9-2.0
 C 1.9-0

自己評価の総括表

名前 _____ 記入日 _____ / _____

重点的に取り組む目標	評価項目	評価指標 及び 評価結果						コメント	
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標	成果	総括評価	評価結果に関する意見等
① 言葉 大切にする 伝え合いを	自分の思いを表現し、伝える喜びを感じられるような保育の展開	4	思いや言葉を自由に表現できる活動内容を展開し保育の振り返りを行い、それをもとに次の保育に活かす	3.4	4	互いに思いや言葉を自由に表現し伝え合う喜びを感じるようになった	3.5	A	・挨拶やありがとうなど自然に伝えられるようになった ・子どもたちが積極的に話し合う姿が見られるようになった ・年間を通して担任との信頼関係ができると自分の思いをしっかりと伝えられるようになった ・意見が合わない時、色々な案を出してみるなど相手への伝え方の幅が広がっていった
		3	思いや言葉を自由に表現できる活動内容を展開する		3	自分の思いを伝えたり、相手の話や思いを聞いたりするようになった			
		2	発表したり見てもらい体験をする機会を積極的に持つ		2	友だちや保育教諭との言葉のやりとりを楽しむようになった			
		1	一人ひとりの声に耳を傾け子どもの言葉に共感する		1	自分の気持ちを友だちや保育教諭に伝える			
	園児の発達を踏まえた言語環境を整え、言語活動の充実を図る	4	横割り活動でドキュメンテーションなどを通して園児も一緒に保育の振り返りを行い、言語でのやり取りができる環境作りを行う	3.3	4	自分の思ったことや考えたことを自由に伸び伸びと言語で表現するようになった	3.9	A	・話し合いの経験が増えるとアイデアを子どもたちから出すなど提案してくることが増えた ・集会などで休みの日のエピソードや自分の知っていることを発表するなど言語表現を喜ぶ姿が見られた
		3	体験したことを発表し、言葉が相手に伝わる喜びを感じられるようにする		3	自分の思いや知っていることなどを、聞いてもらいたがるようになった			
		2	正しい名称や正しい言葉遣いで園児と関わる		2	自分から正しい名称や言葉の意味を知ろうとする			
		1	興味のある絵本や紙芝居を読み聞かせる		1	興味を持って絵本や紙芝居を聞く（見る）			
	表現することを喜べるように身近なものの名前を知るなど教材の工夫をする	4	一人ひとりの興味・関心に合わせた教材を準備し、より活動が展開するように個別の配慮を行う	3.2	4	具体物がなくても言語で表現できる（抽象化できる）	3.4	A	・子どもの興味に合ったものや季節のものなどを、実物を準備するなど環境を整えることで、語彙が増え興味や関心も増えていった ・畑での野菜の栽培や収穫体験を通して、野菜の生長や食べた感想など、分かったことや気づいたことをお互いに表現しあうことができた
		3	実際に季節のもの（野菜・植物・虫など）に触れ、感覚を通して具体的に知ることができるようになる		3	分かったことや思ったことを友だちに伝えようとするようになった			
		2	興味をもったことについて調べられるように、絵本や図鑑や資料を準備する		2	準備された教材について、もっと知りたがり尋ねてきたり自ら調べたりするようになった			
		1	イラストや写真など視聴覚教材を準備する		1	準備された教材に興味・関心をもつ			
② 豊かな感性を育む	園児が意欲的に活動を進めるための環境の構成	4	自己選択できるように、分類・整理された環境の設定をする	2.8	4	自分たちでアイデアを出し合いながら、活動を楽しむようになった	3.2	A	・同年齢の活動では子どもたちから出た意見を保育計画に活かしたり、自分たちで準備から片付けまでを行えるような環境づくりを心がけることでより意欲的に活動に参加するようになった ・子どもたちから出たアイデアを全て体験につなげたり実行したりするには教師側の環境設定の不十分さがあつた
		3	園児の興味・関心に合わせた遊具・用具・素材等を準備する		3	活動に必要な遊具・用具・素材等を探したり保育教諭に相談したりするようになった			
		2	美しいものや様々な感触・感覚を楽しめるような遊具・用具・素材等を準備する		2	環境として置いてあるものに興味を示し、触ったり試してみたりするようになった			
		1	園児が手に取りやすいところに、遊具・用具・素材等を準備する		1	環境として置いてあるものを見る			
	一人ひとりが個性を発揮できる機会をもつ	4	幼児理解したことに基づいて、園児と関わってみる	3.7	4	活動の中で自分の気持ちを出せるようになり、自分でできることに粘り強く取り組むようになった	3.5	A	・保育の振り返り（記録の見直しなど）を行いながら子どもと関わることで積極的に活動に参加する姿が見られた ・同じ活動でも一人ひとりの進み具合や興味点は異なるため職員間で情報を共有しながら関わることで、子どもの参加意欲が変わる時があつた
		3	幼児理解を深め、職員間で共有し、一人ひとりにあった配慮や援助を考える		3	活動に集中して取り組む姿が見られるようになった			
		2	保育の振り返りや記録（カルテ・成長記録等）から一人ひとりの内面を理解する		2	活動に喜んで取り組む			
		1	一人ひとりをよく見る		1	喜んで登園している			
	いのちを身近に感じる体験を通して共感性を育む	4	体験を具体的に言葉で表現できるような環境の設定を行い、友だちや保育教諭とやりとりを楽しめる場をつくる	3.4	4	いのちの大切さを知り、いのちあるものに感謝するようになった	3.7	A	・野菜や植物の生長を身近にあることで興味をもつことができ、実際に育てた野菜を食べると野菜が苦手な子どもも喜ぶ姿があつたため、もっと命についての話をしても良かった ・畑作りやおにぎり献金やSDGsや避難訓練などのさまざまな体験を通して、身近な命を感じる機会が作れた
		3	友だちや保育教諭と成長の喜びや感じたことを共有する		3	いのちの大切さを感じ植物や生き物を大切にするようになった			
		2	『育てる』体験を通して成長（生長）の過程を知る		2	成長（生長）の過程を喜び			
		1	クラスでなにかを育てる（生き物・植物など）		1	自然に触れる			
学③ 学び 子どもと 大人に	園外研修への参加と成果の活用	4	保育の中で実践したことを、園内研修等で報告し今後の保育の改善に活かす	3.4	4	実践した保育について互いに報告するなど積極的に共有するようになった	3.4	A	・研修には積極的に参加することができたが、研修内容を共有し実践に活かすことは意識して行ったが、実践後の振り返りや共有が不十分だった部分がある ・一人ひとりに合った関わりや援助を研修で学ぶことができた
		3	共有したことを保育で実践する		3	園外研修会の報告で共有したことを保育で実践する			
		2	研修会で学んだことを職員間で共有する		2	園外の研修会に積極的に参加する			
		1	園外の研修会に参加する		1	園外の研修会に参加する			
	家庭との連携を密にする	4	保護者と分かち合ったことについて、互いに連携を図りながら保育を実践する	3.6	4	保護者の肯定的・協力的な関わりが増えた	3.5	A	・保護者も参加する行事を取り入れることで協力的な関わりも増えてきた ・保護者に協力してもらえ環境を作り参加してもらえると保護者が肯定的になることが分かった ・クラス単位での発信が足りていなかった ・アンケートでは保護者の率直な意見を知ることができた
		3	一人ひとりの子どもたちの具体的な成長について保護者と分かち合う機会をもつ（ヨゼフノート・個人面接・成長記録など）		3	保護者から、子どもの成長を喜ぶ声や期待の声が聞かれるようになった。			
		2	園であったことなど園生活について保護者にHPやクラスだよりで知らせる		2	我が子の園生活に関心を寄せ、聞いてくる保護者が増えた			
		1	保護者勉強会をするなど園の教育方針を知ってもらう		1	園の教育・保育について興味や関心をもつ保護者が増えた			